



5・6年生の児童たち

1月21日に、ふるさと美浜元気フォーラムがなびあすで開催されました。

同フォーラムでは、町内3小学校の3年生から6年生約240人が、ふるさと美浜の良さや課題等について、探究活動に取り組んできた、「ふるさと美浜元気プロジェクト」の発表が行われました。

フォーラムは午前と午後の2部に分けて開催され、午前の部では3・4年生が発表を行い、3年生は「美浜のお宝」と題して、校区内で調査した名所や名物をステージ上で発表しました。4年生は、「みんなのしあわせ」をテーマに福祉学習を通して学んだことを3校合同で

ステージ上で発表後、小学校ごとに自分たちで考えて実践してきたことを発表しました。

午後の部では5・6年生が発表し、5年生は、「美浜の課題解決」をテーマに、地域のために活動する人たちや団体取材・調査し、ステージ上で紹介しました。6年生は、「美浜の未来創造」をテーマに3校混合でグループを作り、観光や農業等の活性化プランを観覧者に提案しました。

観覧には、同プロジェクトでお世話になった地域の方々や、過去に同フォーラムで発表した美浜中学校・美方高校の生徒等も参加し、発表に対して意見交換が行われる等、さまざまな世代との交流が図られました。

わたしの夢、語ります

山口 <sup>なつな</sup> 夏奈 さん 美浜中央小学校 6年 (木野)

たくさんの人の命を救うために

私の夢は、救急救命士になることです。小学4年生の頃、将来どんな仕事がしたいかを考えていた時に、人を助けて周りの人たちから感謝をされる仕事をしたいと思ったことがきっかけです。また、私の父が救急救命士として働いていて、たくさんの人の命を助けている姿や、制服姿がとてもかっこよくて私も救急救命士になりたいと思うようになりました。

将来、救急救命士になって周りの人から頼られる存在になるために、これからたくさん勉強していろんな知識をつけたり体力をつけたりしたいです。そして身につけた知識と体力を使って現場で素早く救助し、より多くの人を助け、たくさんの笑顔が見たいです。



CONTENTS 目次 広報みはま2026年3月号

- 2 わたしの夢、語ります／表紙の写真／目次
- 3 ふるさと美浜元気フォーラム
- 6 まちウォッチング  
第59回美浜町子ども会かるた大会／日向水中綱引き 他
- 8 美浜町のニュース  
第六次美浜町総合振興計画を策定 他
- 9 みはまのまなび通信 Vol.9
- 10 情報BOX  
転出届はオンラインでの届け出が可能です／壊れたおもちゃを修理します 他
- 13 美浜発電所の状況について
- 14 すこやか放送局
- 15 ふるさと昔よもやま話166／文芸欄
- 16 ハートフル広場  
はじめてバースデー／町人さん／慶弔／人口の動き／広報クイズ
- 18 くらしのカレンダー

- 表紙の写真 -



第59回美浜町子ども会かるた大会の様子です。

児童たちは、配置した札の位置を覚え、読み手が上の句を読み始めた瞬間に札を取り合っていました。

読み手の声に集中し、読み上げられた札を瞬時に払い取る姿から、児童たちの真剣さがひしひしと伝わってきました。

(関連第6、17頁)



◇5年生【美浜の課題解決】

美浜東小学校



菅浜わくわく協働体の活動を知ってもらうため、取材や施設見学をして調べたこと等を報告しました。

美浜中央小学校



町内に移住された方たちと町の課題について意見交換を行い、その課題解決策について提案しました。

美浜西小学校



久々子湖でしじみの養殖を行っている田邊義郎さんの活動を知ってもらうために、取材や調査したこと等を報告しました。

◇6年生【美浜の未来創造】

6年生は、3校混合で編成した20のグループに分かれ、グループセッションを行いました。それぞれが持ち寄った課題とそれらの解決策を掛け合わせ、課題解決と町の活性化につながるストーリーを考え、発表しました。

校区の垣根を越え、同じ美浜町に住む他校の仲間との対話を通して、未来を創造するアイデアを提案し、観覧者とともに磨き上げました。

児童たちが持ち寄った課題	グループの提案タイトル
子育て×空き家バンク×伝統文化	地域のみんなが協力！伝統フェス！
空き家×海ごみ×空き家	空き家に泊まって おばけやしき体験！
レイクセンター×外来種×海ごみ	三方五湖復活大作戦！ ～海ごみを減らして レイクセンターに賑わいを～
海ごみ×観光×海ごみ	海ごみを減らそう大作戦！ ガチャガチャで美浜の課題解決
レイクセンター×国吉城×空き家バンク	空き家マッチングツアーでレイクセンターと国吉城の魅力を知ってもらおう！
海ごみ×海ごみ×交通	拾ったごみがアートに変身 ～海ごみアートがいろんな駅へ～
空き家×特産品×海ごみ	空き家を活用したレストランで特産品を広めよう！
レイクセンター×空き家×獣害	みんなの笑顔を咲かせよう！ ～レイクセンターで思い出づくり～
海ごみ×観光×海ごみ	海ごみガチャでみんなを楽しませよう
子育て×観光×海ごみ	子ども祭り ～楽しみながら美浜町について知ってもらおう～
人口減少×観光×海ごみ	平日限定！美浜の魅力満喫バスツアー
人口減少×空き家×海ごみ	空き家に宿泊！美浜町を満喫してもらおう！
空き家バンク×ジビエ×獣害	空き家ツアーでジビエと獣害について知ろう！
人口減少×子ども×海ごみ	海ごみ減少祭り ～海ごみを減らして大人も子どもも楽しもう～
空き家×獣害×海ごみ	「獣害やしき」で「課題」を「笑顔」に
海ごみ×子ども×農業・漁業	様々な世代と交流し隊！ ～誰もが楽しめる公園をつくろう～
海ごみ×空き家×福祉	美浜の「いいね！」をアピールし「課題」を解決しよう！
子育て×海ごみ×はまびより・こともち	オリジナルキャラクターでまちをひとつに ～海ごみを減らし 子どもも大人も笑顔になる美浜町へ～
人口減少×観光×空き家	楽しくて住みやすいまちづくり ～レガッタの後は空き家ホテルで疲れをいやそう～
少子化×海ごみ×海ごみ×伝統文化	海から生まれた楽器・新たな「福チャリ」で美浜町をアピールしよう



◇3年生【美浜のお宝】

美浜東小学校

みんなで発見！お宝ちょうさたい



地域の方々の協力のもと、ピザや太田そば、果物等のおいしい食べ物等について施設を訪れて聞いたことや見学したことを発表しました。

美浜中央小学校

お宝発見！中央たんけんたい！



地域の自慢したい食べ物や場所を調べました。トマトやジビエ、国吉城歴史資料館等、実際に体験・見学したことを発表しました。

美浜西小学校

発見！西小お宝たんてい団



レインボーラインや久々子湖のしじみ等の地域のお宝・スポット等を見学し、体験・調査したことを発表しました。

◇4年生【みんなのしあわせ】

【パート1】 3校合同発表「地域の方との交流」



4年生は、「みんなのしあわせ」をテーマに福祉について学習し、町内で障がいを持ちながら生活している方や妊婦、高齢者等さまざまな方との交流を通じて、みんなが幸せに過ごすために大切なことが何かを1年間勉強してきました。

発表の前半では、各校の代表者がステージ上で、交流の様子を発表し、後半では、3校合同で実践した「みんなの幸せフェスティバル」での取り組みについて発表が行われました。

【パート2】 学校別発表「わたしたちの実践 ～みんなの幸せフェスティバル～」

美浜東小学校



折り紙や相談コーナー等での、来場者の方との交流を通じて、「人それぞれの幸せがある」と実感したことを発表しました。

美浜中央小学校



体の不自由な方や子ども、高齢者の方等さまざまな人たちがみんなが楽しんでもらうために工夫することの大切さを発表しました。

美浜西小学校



みんなが幸せになるために、自分から行動したり、相手に合わせた配慮や工夫をしたりすることの大切さについて発表しました。



↓ 極寒の水中で大綱を引きちぎる男衆



## 今年の大漁祈願・無病息災を祈って 日向水中綱引き

1月18日に、水中綱引きが日向湖と若狭湾を結ぶ運河で行われました。

色とりどりのハチマキに白いパンツの上半身裸姿で現れた男衆約20人は、橋の欄干から勢いよく大綱の張られた運河へ飛び込みました。東西両岸に分かれた男衆は、大きな掛け声とともに10分程で大綱を引きちぎり、観客から歓声が上がっていました。

↓ 記念撮影をする戸嶋町長（左）と加賀山信之社会福祉協議会会長（右）



## 五木ひろしふるさとチャリティコンサートの 収益金を活用 町社会福祉協議会に冷蔵・保冷車を贈呈

2月13日に、町役場で町と五木ひろしさんから美浜町社会福祉協議会へ冷蔵・保冷車の贈呈が行われました。

この贈呈は、昨年5月に開催された同コンサートの収益金を地域福祉の向上に役立ててほしいと五木さんから申し出があり、今回実現したものです。

式で加賀山会長は「大変貴重な車両をいただき、感謝している。町の福祉活動に役立てたい」と話されていました。

↓ ゴール下で激しい攻防を繰り広げる選手たち



## チーム一丸となって戦う 第57回美浜町民バスケットボール大会

1月25日に、町民バスケットボール大会が総合体育館で行われました。

大会には、7チーム約80人が参加し、6分4クォーターのトーナメント戦が行われました。参加チームは、素早いパス回しやドリブルを駆使してゴールを奪い合っていました。大会結果は次のとおりです。

優勝 河原市 準優勝 久々子 3位 佐田、早瀬

↓ 遊覧船の中から野鳥を観察する参加者



## 三方五湖に集まる野鳥を間近でウォッチ 野鳥観察クルーズ

1月10日から2月28日にかけて、三方五湖ネイチャークルーズで野鳥観察クルーズが開催されました。

このクルーズは、騒音の少ない静かな遊覧船に乗船し、湖面を進みながら冬の三方五湖に集まる多種多様な野鳥を観察してもらうことを目的に行われたものです。

参加者は、日本野鳥の会の会員から解説を聞きながら、オオバンやホシハジロ等の野鳥観察を楽しんでいました。

↓ 上の句が読まれた瞬間に取り札を取り合う児童たち



## 研ぎ澄ました集中力で勝負を決める 第59回美浜町子ども会かるた大会

1月18日に、美浜町子ども会かるた大会がはあとびあで行われました。

大会には、町内の各地区から全10チーム30人が参加し、リーグ戦と決勝トーナメントが行われました。児童たちは、日頃の練習の成果を発揮し、読み手が読み上げた上の句に素早く反応して札を取り合っていました。

大会結果は次のとおりです。（関連第2、17頁）

↓ 戸嶋町長（左から3番目）に目録を渡し、町から感謝状を受け取った樋下会長（右から3番目）



## 町の教育活動の一助に 民泊推進協議会が町へ寄付

1月16日に、町役場ではあとふる体験推進協議会の民泊推進協議会から町へ寄付金の贈呈が行われました。

今回の寄付は、平成16年に設立した同協議会が今年度で解散することとなり、これまで運営費として積み立ててきた資金約30万円を町に寄付したものです。

贈呈式で、樋下伸嗣会長は「この寄付金を学校や教育等のために活用して欲しい」と話されていました。

↓ 迷った時に、自分がどうしたいか考えることの大切さを語る竹森氏



## 美浜出身の先輩に学ぶ シナプス先輩大学

1月17日に、4回目となるシナプス先輩大学がなびあすで開催されました。

この企画は、子どもたちの将来の選択肢を広げ、地域愛を醸成することを目的としており、弁護士<sup>ありさ</sup>の竹森現紗氏（東京都在住・郷市出身）を講師に迎え、開催されました。

竹森氏は「自分の人生を自分で考え続けることがとても大切」と参加した中高生にエールを送っていました。



まちウォッチング  
atching